



Chromebookはマストアイテム(必需品)

今年度も夏休み中、全児童に Chromebook を持ち帰らせます。昨年度の学校評価では保護者の方から「自主的にドリルパークに取り組む等、進んで勉強する力がついたように思う」「使いこなしていて、調べ物など、いろいろ活用できていて、必需品になっていると感じる」「使い方は上達している。(HowTo) 決めた時間を守らないが、使った分上達しているのでジレンマを感じる」などの意見をいただきました。18日に文部科学省が公表した文部科学白書では、社会の変革期を生きる子どもたちにとって、タブレットなどの学習用端末は、鉛筆やノートと並ぶ「マストアイテム(必需品)」であり、全員が端末を持っている環境は、「令和時代の学校の『スタンダード』」と表現しています。その上でICTを学校で活用することで、すべての子どもの可能性を引き出す学びの実現に努めるとしました。本校の児童たちは、1年生から6年生に至るまで高いレベルで、学習コンテンツの操作スキルをすでに身に付けています。各学年の発達段階に合わせてこの夏休みも、子どもたちが自ら課題を見つけ主体的に学び、その解決に向けて適切に端末を活用できるように学校でも指導していますが、ご理解の上、ご家庭での見守りもよろしくお願いいたします。



子ども SOS 学習端末で把握(文部科学省より通達)

子どもの自殺が過去最多となる中、文部科学省は7月10日、小中学生の1人1台学習用端末を活用し、子どもの「SOS」を早期に把握するよう、全国の教育委員会や学校法人に要請しました。文部省の通知では、2022年の小中高生者の自殺者が514人と過去最多となったことに触れ、大変憂慮すべき状況と強調し、子どもの自殺者が増える傾向にある夏休み明けに向け、全力で自殺予防に取り組むよう求めました。具体的な策として、1人1台学習用端末を通じてアンケートや教育相談などを行い、子どもの悩みや心身の不調を教員らが把握することなどを挙げています。文部科学省では、相談窓口「24時間子供 SOS ダイヤル」(0120-0-78310)で悩みや不安などの相談も受け付けています。加古川市では、Chromebookを起動し、ログインするとすぐにブックマークから各種相談窓口のURLにとぶことができるように設定されています。また、本校では夏休み中、各担任が児童と Meet でつながる日を設定するほか Classroomで、課題や学習についての質問を受ける等、児童の様子を把握するよう努めます。保護者の皆様におかれましても、気になることがございましたら、学校にご相談ください。よろしくお願いいたします。



夏休み中も学校便りを発行します

夏休み中も学校便りを発行いたします。内容は、夏休み中の職員の研修や作業の様子、児童クラブでの子どもたちの様子、校内の木や花など、志方東小学校の様子を少しでもお伝えできればと思っています。過去2年間同様 Classroom「みんなのクラス」に投稿していきますので、子どもたちと一緒に読んでください。また、学校ホームページに掲載、スクリレにも投稿していきます。